

- **北九州IT研究開発支援センターの利用公募開始について**

- **平成17年9月30日**

独立行政法人情報通信研究機構(理事長:長尾 真)では、平成12年度補正予算で産学連携によるIT研究開発の促進及び大学エリアへの研究機関の集積による地域産業構造の高度化を目的として、新技術、新事業の創出効果の大きいIT分野(インターネット技術等)に関する情報通信研究開発支援施設を福岡県北九州市若松区ひびきの他計3ヶ所に北九州IT研究開発支援センターとして整備し、平成14年4月から利用が開始されております。

北九州IT研究開発支援センターでは、空間的に離れた3つの拠点間をネットワーク接続させた研究設備環境の中で、大容量通信におけるQoS制御をはじめとするネットワーク/サービスの品質制御に関する様々な制御方式、管理方式の高度化等を中心としたIT関連の研究・開発が行えるほか、研究指導員による技術指導も実施いたします。つきましては、北九州IT研究開発支援センターの利用希望者を下記により公募することといたしましたのでお知らせいたします。なお、今回公募する利用期間は、平成17年12月から平成18年3月分です。多数のご応募をお待ちしております。なお、センター運営期間終了に伴い、今回が最後の公募利用となる予定です。

記

- 1 公募の期間: 平成17年10月1日(土)～平成17年10月28日(金)
- 2 公募の要領: 別添資料のとおり
- 3 公募説明会 次の日程で公募説明会を開催します。(詳しくは、別添資料のとおりです。) 平成17年10月12日(水)

<問い合わせ先>

情報通信研究機構 総務部 広報室
奥山 利幸、大野 由樹子
Tel: 042-327-6923、Fax: 042-327-7587

<公募に関する問合せ先>

北九州IT研究開発支援センター 担当
拠点研究推進部門 支援センター推進室
横山康雄
Tel:03-3769-0230
Fax:03-5439-7320

別添資料

北九州IT研究開発支援センター

利用公募案内

1 施設所在地

北九州IT研究開発支援センター

福岡県北九州市若松区ひびきの1番3号
北九州学術研究都市学術情報センター 3階

福岡県北九州市小倉北区浅野3丁目8番1号
アジア・太平洋インポートマート(AIM) 7階

福岡県北九州市八幡東区東田1丁目5番7号
九州ヒューマンメディア創造センター(HMC) 2階

2 利用公募説明会

(1)日時:平成17年10月12日(水) 14時30分～15時00分

(2)場所:北九州市小倉北区浅野3丁目8-1

アジア・太平洋インポートマートビル7F 北九州JGNⅡリサーチセンター会議室

3 利用の方法

(1) 公募による利用

今回公募する利用期間は、平成17年12月から平成18年3月分です。利用を希望される方は応募をお願いいたします。応募していただいた方の中から利用者を審査により決定いたします。

なお、4か月間の利用許可を受けた方は、その期間のうちおおむね8日程度の日数について短期利用希望者への利用のため、設備の利用を調整させていただくことがあります。

(ただし、短期利用希望がない場合は、この限りではありません。)

(2) 公募締切後の短期利用

公募期間を過ぎた後でも、施設に充分余裕があると認められた場合に調整可能な範囲で利用の申し込みを受け付けます。(提出書類等は公募期間中のものと同一とします。)

4 応募方法

(1) 応募の方法

研究開発・利用申請書及び研究開発・計画書など提出書類((3)参照)に必要事項を記載して、受付期間内に提出方法に従ってご提出ください。

(2)事前の相談

応募に関して相談に応じます。ご相談希望の方は、問い合わせ先までご連絡ください。

(なお、公募説明会において詳しい説明を行う予定です。)

(3)提出する書類

提出テーマごとに、次の書類をご提出下さい。

- ・研究開発・利用申請書……………1部
- ・研究開発・計画書……………1部
- ・計画書添付資料……………1部

提出書類は、利用許可／利用不許可のいずれかの場合も返却いたしません。

提出書類の機密保持については充分配慮いたします。

(提出書類の様式は公募説明会の際に配布いたします。)

当センターのホームページ(www.kitaq-it.nict.go.jp)からもダウンロード可能です。)

(注)テーマ名及び企業・団体名の公表について(お願い)

応募の内容は機密扱いといたしますが、支援センターの活動を紹介するために、応募テーマ名と企業・団体名の公表にご理解、ご協力をお願いいたします。

なお、これらの公表の可否について利用申請書の該当欄に必ずチェックをしてください。

(4) 受付の期間(公募期間)

平成17年10月1日(土) ～ 平成17年10月28日(金)

(5) 提出の方法

上記の受付期間内に、提出書類を次の部署あて郵送、またはご持参してください。

(期限内必着でお願いいたします。)

なお、FAXによるご提出はご遠慮ください。

独立行政法人情報通信研究機構
北九州IT研究開発支援センター 担当 広岡
〒802-0001
福岡県北九州市小倉北区浅野3丁目8番1号
アジア・太平洋インポートマートビル7階
TEL:093-513-5541

5 利用の条件(概要)

(1) 審査・許可

利用申請書の研究内容等に関して、独立行政法人 情報通信研究機構において審査し、許可された方に利用していただきます。

(2) 利用の開始

今回の公募に係る利用開始は、平成17年12月1日(木)からの予定です。

(3) 利用時間

施設等の利用時間は、原則として土曜、日曜、祝日(振替休日を含む)及び年末年始(12月29日から1月3日)を除いた日の9時から17時までとします。

(4) 利用料金

施設等の利用にあたっては、別に定める利用料金を負担していただきます。
また、4か月を超える利用の場合でも4か月ごとに利用料金をお支払いいただきます。

(5) 研究成果

研究が終了した場合は、その研究成果(利用報告書の様式による)を報告していただきます。
4か月を超える継続テーマにつきましては、4か月ごとに中間報告(利用報告書の様式による)の提出をお願いいたします。また、この研究成果は、申し出によりやむを得ないと認められる場合を除き、原則として公開させていただきます。

(6) その他

施設をご利用になる方は、上記の利用条件を含め、施設の利用規約に従っていただきます。

6 設備の概要

施設の設備概要等は、別紙のとおりです。

別 紙

北九州IT研究開発支援センター 設備の概要

(1) 高度個人認証技術開発設備

ネットワーク上での各種バイOMETリック方式(指紋、顔および動作等)を用いた個人認証技術の研究開発を行うことができます。

高度個人認証技術開発設備は、認証局に相当するサーバ装置、顧客やアプリケーションサーバからの認証要求に応じるパスポートサーバ装置、アプリケーションサーバ装置、開発検証を行うための装置、モーションキャプチャ装置、Web内蔵インターネットカメラ、指紋認証装置、顔認証装置、各種コンピュータ等をネットワーク接続するためのLANスイッチ装置等から構成されています。

(2) 3D映像伝送研究開発設備

3次元映像モデルおよび3次元音声モデルの製作とこれらモデルを効果的に圧縮・配信・復号する技術の研究開発を行うことができます。

本設備は、映像を収録する装置、画像を編集する装置、3次元モデルを入力・編集する装置、3次元映像コンテンツを製作する装置、3次元音声コンテンツを製作する装置、画像を符号化・配信・復号する装置、両眼立体刺激を作成する装置、各種コンピュータ等をネットワーク接続するためのLANスイッチ装置等から構成されています。

(3) 分散型アプリケーション研究設備

本設備は、Webサービスという概念をもとに、インターネットに散在する各種アプリケーションを動的に連携させる仕組みを研究開発するためのものです。最先端のXML技術を発展させ、分散型Webを構築、検証することができます。

高性能サーバを複数台用いて、インターネット上に散在する種々の企業を仮想します。各サーバではWebアプリケーションを提供し、それらのアプリケーションは高性能サーバ上のレジストリに登録され、利用されることとなります。Webアプリケーションの開発用にサーバと端末装置が複数台用意され、異なるプラットフォームでの開発環境を提供します。

本設備は、高性能UNIXサーバ10式、高性能Windowsサーバ2式、Windows端末12式、Mac端末1式から構成されています。

(4) 個人情報管理研究設備

本設備は、インターネット上で個人情報をその個人自身が管理し、セキュアな個人情報を公共機関などで利用するため技術を研究開発するためのものです。この設備を利用して、電子政府としてのサービスのあり方や利便性の高いユーザインタフェースを考察、検証することができます。

個人情報を保管するDBサーバと、行政サービスの課金処理のためECサーバを用意します。分散型アプリケーション研究設備を一部共用利用し、個人認証の仕組みを研究開発します。また、評価・検証用にICカードを読み書き可能な端末装置を提供します。

本設備は、高性能UNIXサーバ5式、Windows端末5式から構成されています。

(5) コンテンツ配信研究設備

ネットワークにおけるコンテンツの蓄積管理・配信や、映像伝送アプリケーションでのQoS適応を研究するための設備です。高中解像度映像(HD、SD)、低解像度映像(Real)、音声をストリーム形式又は、FTP形式で配信蓄積することができます。また、QoS制御ネットワーク研究設備の各制御装置と連携し、幅広い研究開発に活用することができます。

本設備は、IPネットワークインタフェースで通信でき、HD/SDの映像コンテンツを扱うことができる映像蓄積サーバ及び配信装置、各種映像装置及びコンピュータをネットワーク接続するためのギガビットスイッチ、各映像装置をコントロールするための制御装置、映像コンテンツを検索、再生、管理するための装置、Realmediaなどの低解像度映像コンテンツをエンコード・配信するための装置、等から構成されています。

(6) QoS制御ネットワーク研究設備

ネットワークの任意個所へトラフィックを擬似的に発生させ、各サーバの負荷状態、ネットワーク品質(遅延、パケット損失率、スループット)、映像品質(連続性・ノイズ等)の測定、評価を行う設備です。様々なレイヤにおけるQoS制御の研究開発に活用することができます。

本設備は、IPネットワークインタフェースで通信でき、各種装置及びコンピュータをネットワーク接続するためのギガビットスイッチ、ギガビットスイッチを制御するための装置、QoS制御ネットワークにおけるサービスポリシーを管理・制御するための装置、QoS制御ネットワークにおけるネットワークポリシーを管理制御するための装置、それらポリシーを相互に関連付けQoS制御に反映させる情報変換装置、各種ポリシー管理装置を操作するためのコンソール端末、仮想的なネットワークをシミュレートするための装置、ネットワークや映像の品質を評価・測定する装置、等から構成されています。

(7) ポリシーライフサイクル研究開発設備

ネットワーク・トラフィックやサーバ負荷を予測しそれに基づいたネットワークのQoS制御を行う技術を研究する設備です。各種QoS制御をポリシーとして一括配布するためのサーバを配置し、各種QoS制御を考慮したトラフィック予測結果に基づいた整合性のあるポリシー再配布を行うポリシーライフサイクル技術に関する研究開発を行うことができます。

本設備は、IPネットワークインタフェースで通信でき、各設備をネットワークに接続するためのギガビット・ルータ、QoS適応時のサービスレベルを予測するサーバ負荷計測器、トラフィック・データの収集及び解析を行うネットワーク計測器、QoS適応時のネットワーク品質評価を行うために、マルチメディアコンテンツを送信する低解像度映像配信装置、送信されたマルチメディアコンテンツを受信するネットワーククライアント、ユーザ管理を行うディレクトリサーバ、ネットワークやシステム及びアプリケーションの稼動情報を収集するQoS based Predictive Server、ユーザプロファイルに従ったポリシー配布を行う研究開発のためのネットワーク管理用ポリシーサーバ、ネットワーク・トポロジに従ったポリシー配布を行う研究開発のためのネットワーク管理サーバ、等で構成されています。

(8) セキュアネットワーク品質評価設備

IPネットワークの状況について既存の各種測定方法を検討、評価し、各種QoS制御技術の有効性の検証やQoS制御ネットワークにおけるセキュリティ確保の研究を行うための設備です。ネットワークのトラフィック状態を測定・判断し、ユーザーレベルでの主観評価とネットワークパラメータの相関についての検証、ポリシーに基づいたネットワークパラメータの割り当てが行えるほか、大容量のデータを送受信して暗号化などのセキュアな通信を確保するための研究開発を行うことができます。

本設備は、IPネットワークインタフェースで通信でき、各設備をネットワークに接続するためのギガビットスイッチ、ネットワーク状態を測定・解析する計測器、マルチメディアコンテンツの受信とその主観評価を行うためのクライアント装置、AV会議等の通信に対しセキュリティ保証を与えるセキュリティ機能制御サーバ、AV会議における映像・音声を送受信するAV会議用端末、ストリーミングキャッシュサーバ、等から構成されています。